1992年4月17日第三種郵便許可（毎月3回7の日発行）
2016年7月30日発行 SSKR増刊通巻第7861号

Special Olympics Nippon Tokyo
SSKR NEWS LETTER
とらいあんぐる
Vol. 69



## 第14回 スペシャルオリンピックス日本・東京

# 夏季地区大会を開催

夏季・冬季と隔年ごとに行われる地区大会は、日ごろ練習に励んでいるアスリートが、その成果を発表する場です。今年の夏季地区大会は、日程も会場も分散開催となりましたが、参加したアスリート全員が、持てる力を思いっきり発揮しました。

5月21日（土）の開会式の後には、スポーツセンターを2日間にわたって貸していただいた港区から、地域に暮らす知的障害のある人たちを招き、スペシャルオリンピックスのアスリートやボランティアとの交流を深める機会を設けました。

今後もさらに都内各区・市との交流を深め、地域に根ざした活動を展開していきたいと思います。

## アスリートの活躍をご覧ください　5月21日（土）

### 5/21 開会式・交流会

会場：港区スポーツセンター

多数の来賓の方々　開会式

選手宣誓　開会式

武井港区長からの歓迎のごあいさつ　開会式

チーム対抗「綱引き」　交流会

福笑い　交流会

### 5/21

◎バスケットボール
◎バレーボール
◎バドミントン
◎機能開発プログラム

会場：港区スポーツセンター

| | |
|---|---|
| 後援 | 東京都、港区、港区教育委員会、港区スポーツふれあい文化健康財団、港区体育協会、スペシャルオリンピックス日本 |
| 協賛 | 綿半ホールディングス |
| 物品協賛／協力 | コカ・コーライーストジャパン、日本卓球、東京YMCA、富士ゼロックス東京、森永製菓、ラケットスポーツ |
| 施設提供 | 昭和の森テニスセンター、東京都障害者総合スポーツセンター、東京ポートボウル、日本体育大学東京・世田谷キャンパス、港区スポーツセンター |
| ボランティア協力 | あすか製薬V.C.マーガレット、ウィリアムズ・リー・ジャパン、國學院大学、スペシャルオリンピックス日本、スリーボンド、桐蔭横浜大学、東京海上スポーツ財団、東京海上日動火災保険、東京海上日動陸上部、東京家政大学、トヨタ自動車、日本体育大学、日本スターウッド・ホテル、パソナハートフル、富士ゼロックス端数倶楽部、マーシュ アンド マクレナン カンパニーズ、明治安田生命保険、リシュモン ジャパン |

1992年4月17日第三種郵便許可（毎月3回7の日発行）
2016年7月30日発行 SSKR増刊通巻第7861号



# アスリートの活躍をご覧ください 5月22日（日）・29日（日）・6月12日（日）

◎バスケットボール
◎卓球
会場：港区スポーツセンター
◎ボウリング
会場：東京ポートボウル
◎体操競技
会場：日本体育大学東京・世田谷キャンパス
5/22

◎テニス
会場：昭和の森テニスセンター
5/29

◎陸上競技
会場：東京都障害者総合スポーツセンター
6/12

## 東京夏季地区大会に参加して

私共、マーシュアンドマクレナンカンパニーズは、スペシャルオリンピックス日本・東京のボランティアやイベントに参加を始めて12年目となりました。ボランティアを必要としているイベントには、少ない人数でも参加するよう心がけた結果、これまでにのべ300人を超える社員が、SONの活動に関わりました。弊社は北九州にもオフィスがあるため、SON北九州のイベントに参加することもあります。

さて、今年の夏季地区大会には、若手から取締役まで17人が4種目（バレーボール、体操、テニス、陸上競技）のボランティアに参加しました。社員は必要に応じてアスリートの練習に加わったり（後日筋肉痛にみまわれたり）、ボール拾いだけでかなりの運動量になったり、あるいはアスリートから質問攻めにあったり、と予想しない展開も楽しませていただきました。SON・東京のボランティアは、こういったアスリートの皆さまとの交流に加え、知らない社員同士が親しくなる貴重な機会ともなっています。

また、SON・東京事務局の皆さまが限られた人数で、実によく仕事をなさっている、ということにいつも感心しています。私共も微力ながらSONのボランティアに参加し、アスリートやファミリーの皆さまとのお付き合いを続けてゆきたいと思います。

（マーシュアンドマクレナンカンパニーズ　田中悠子）

### 参加地区・参加者数一覧

| 競技名 | 東京 | 他地区 | | | | | | 総計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 神奈川 | 千葉 | 埼玉 | 群馬 | 茨城 | 合計 | |
| ボウリング | 63 | 5 | 7 | 0 | 5 | 0 | 17 | 80 |
| バスケットボール | 116 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 116 |
| 陸上競技 | 24 | 0 | 15 | 0 | 0 | 7 | 22 | 46 |
| 体操競技 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 |
| 卓球 | 40 | 5 | 5 | 0 | 0 | 0 | 10 | 50 |
| テニス | 15 | 4 | 0 | 2 | 0 | 0 | 6 | 21 |
| バドミントン | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| バレーボール | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 |
| MDP | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 |
| 合計 | 291 | 14 | 27 | 2 | 5 | 7 | 55 | 346 |

1992年4月17日第三種郵便許可（毎月3回7の日発行）
2016年7月30日発行 SSKR増刊通巻第7861号



## JR東日本企画主催「交通広告グランプリ2016」企画部門最優秀部門賞を受賞

昨年、アスリートの皆さんから集めた靴ひもでポスターを作ったこと、覚えていますか？タペストリーになったポスターに描かれたQRコードをスマホで読み取ると、ボランティア募集の動画が見られるという、とてもユニークなものでした。このポスターが、この度「交通広告グランプリ2016」企画部門の最優秀部門賞を受賞したという嬉しいお知らせをいただきました。

「交通広告グランプリ」は、1956年にスタートした歴史ある広告賞と聞きます。毎年多くの広告が応募されるこのような有名な賞を受賞できたのは、すべてグレイワールドワイド社のご尽力によるものですが、私たちSON・東京にとっても非常に栄誉あること。これに恥じることなく、組織を挙げてボランティアの拡大には、引き続き努力していきます。

## 来年3月に迫った「冬季世界大会・オーストリア」派遣選手団が決定！

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本（SON）はこのたび、「2017年スペシャルオリンピックス冬季世界大会・オーストリア」に派遣する選手団74名（アスリート54名、役員・コーチ等20名）を決定しました。このうちSON・東京からは、30名（アスリート24名、コーチ4名、追加スタッフ1名、副団長1名）という最大人数が選抜されました。

今回の世界大会は、2017年3月14日から3月25日まで、オーストリアの4都市で開催され、110ヵ国から約4,000人以上の選手団が集まり、3,000人以上のボランティアがこれを支えます。

世界に挑戦する30名のSON・東京選抜選手団に、温かい応援をお願いいたします！

**SON・東京選抜メンバー一覧**（2016年7月5日現在）

| | |
|---|---|
| 副団長 | 岩沼聡一朗 |
| アルペンスキー | 木附雄祐／武田和幸／吉原圭輔／浜井慧／柳下沙也香／小松順子（追加スタッフ） |
| ショートトラックスピードスケート | 志村悠辰／近藤瑞穂 |
| フィギュアスケート | 松尾日出海／松元竣資／杉田秀男（コーチ） |
| フロアホッケー | 大森裕明／小笠原城／小笠原隆三／小澤陽介／加藤抄弥／曽根原孔太／髙橋凌／中村暢康／福田啓史／藤幸太郎／森本拓哉／横山達也／渡邉大輔／渡辺佑平／片岡真梨／髙橋豪（コーチ）／森本利彦（コーチ）／正木七絵（コーチ） |

## WORKING ATHLETES ▶▶▶働くアスリートたち 第27回 木附雄祐（きづきゆうすけ）さん（22歳）

**伊藤忠テクノソリューションズ（株）（CTC）は、「システムインテグレーター」（社会のさまざまな分野で使われている情報システムの構築を行う会社）です。**

**その特例子会社「ひなり」（2010年設立）では、約60人の障害のある社員が、“発輝”＝「持っている能力を“発”揮し、元気で明るく“輝”く人になろう!」をモットーに、マッサージサービス、オフィスの清掃や洗濯、コンピュータ機器のリサイクル＆リユース、農作業のサポートなどを行っています。**

**今回は、CTC横浜コンピュータセンターの中にある木附雄祐さんの職場を訪ねました。**

### ▶ 新人に教えられるように

横浜コンピュータセンターは、データを保存するCTCのいわば心臓部。セキュリティはとても厳重です。取材は、事前に氏名を申請し、身分証明書を提示して入館証を受け取り、館内に。いくつかの扉をくぐり抜けるたびに入館証をタッチをして、木附さんが働く「リサイクル＆リユース」の作業室へたどりつきました。

解体作業中です

木附さんは2年半勤務した前職場の業務終了に伴い、1年半前に「ひなり」に転職しました。仕事は、不要となったコンピュータ機器を解体し、金属やプラスティックなどの再利用部品と廃棄部品に分別すること。「解体はむずかしくないです。備品をなくさないように、怪我をしないように頑張っています。毎日忙しい。仕事はたくさんあります」

上司のサポートマネージャー菊池崇悟（たかのり）さんは、障害のある人たちの支援を担当しています。

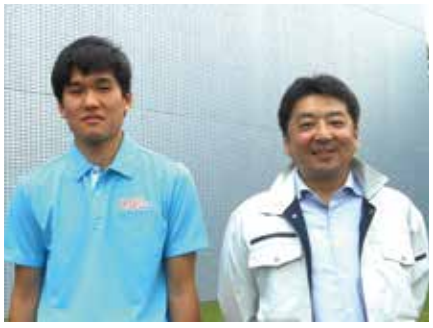
「解体した部品はそれぞれ決まったトレーに分けるのですが、彼は覚えも早く、作業も早いです。いっぱいになったトレーをコンテナに積むのも上手。ギチギチに詰めると取り出しにくいのですが、うまく隙間を空けています。これからは、1日に処理する台数を少しでも増やし、かつ新しく来る人たちに作業を教えられるようになってほしいですね」

### ▶ 仕事もスキーも頑張りたい

職場の仲間は4人。空色のポロシャツと黒のズボンに着替え、エプロン、手袋、マスク、ゴーグルを身に付けて、作業をしています。毎週ローテーションで、朝礼・夕礼の司会なども担当します。昼食は、センター内の社員食堂で。「おいしいです」と木附さん。通勤も、社員と一緒。市が尾駅から会社のシャトルバスに乗り、社員証をかざして入館しています。1日の作業目標は40台。「目標を高めて頑張っていきたいです。働き続けたいと思います」

木附さんは、今年の「冬季ナショナルゲーム・新潟」アルペンスキーの上級大回転ディビジョン1で優勝。来年3月にオーストリアで開催される世界大会に出場しますが、その間は特別休暇。スポーツなどの対外活動を積極的に応援してくれる会社で、生き生きと働いていました。仕事に、スキーに、目標を高く掲げて活躍してください。

（アルペンスキー、水泳競技、ボウリングの各プログラムに参加）


木附さんと上司の菊池さん

1992年4月17日第三種郵便許可（毎月3回7の日発行）
2016年7月30日発行 SSKR増刊通巻第7861号



ホップステップジャンプ Vol.13 ▶アスリート：上柳じゅんさん　母：上柳しのぶさん

## これからもお父さんと一緒に卓球、楽しんでね

上柳じゅんさん　1993年生まれ。2007年SO入会、卓球プログラムに参加中

卓球でお世話になって、早10年。こんなに大きく元気になるとは思いませんでした。

1993年2月14日バレンタインデーの日に生まれ、父親はさぞかし嬉しかったことでしょう。しかし、退院の日、心臓に異常があると言われ、そのまま日赤病院へ。そこでの診断は21トリソミー（ダウン症）、心内膜欠損症完全型とダブルパンチ！　悲しみや驚きなど感じる間も無く心臓手術。無事成功し、病院の中で仲良くなったダウン症のご家族の明るい表情に助けられて、「よし！これからだ！」と気持ちを切替え、療育を受けることとなりました。

心臓も良くなっていたせいか発達も良く、1歳5ヶ月で歩き、初語も「マンマー」と大きな声で、健常児と変わらぬ様子でした。笑顔がかわいく、療育園ではアイドルのようでした。しかし、やはりダウン症です。手の使い方やおトイレなどは、なかなか思うようには行きませんでした。そんな時、知り合いの保育園からお声が掛かり3歳で普通の保育園へ入り、健常児と一緒の教育を受ける事になりました。

じゅんには、2歳上の姉がいます。その姉には、最初から「じゅんはダウン症で発達に障害がある」という内容を話していました。ですから保育園が違ってしまったことも理解してくれました。何をするのも姉と一緒で、仲の良い姉妹は今でも健在です。家での教育はほとんど姉が中心になりやっていて、いい事悪い事などをじっくり教えていました。

小学校は教育委員会ともめながらも、姉と同じ普通の小学校へ入り、たくさんのお友だちの中で6年間を過ごしました。それが今のじゅんに繋がっていると思います。中学からは、苦手なものの克服をするため特別支援学校へ行き、高等部卒業後は就労場所が見つからず、就労継続支援B型の通所に通っています。

卓球は小学校から始めましたが、まさかアテネ※1まで行けるとは思いもしませんでした。全国障害者スポーツ大会にも何度も派遣していただきました。色々な場所で美味しい物が食べられることが、じゅんにとって最高のご褒美なのです。

我が家の教育はかなり厳しく、健常だろうが障害だろうが、駄目なものは駄目。全て同じで、お世話になる方のお話を良く聞き、きちんと対応できるよう、今でも声掛けをしています。これからも先は長いので、親が元気でいられるまで教育していくつもりでいます。

まだまだお父さんと、卓球を楽しんでほしいです。じゅんがいる事で、家族は幸せ一杯です。頑張ろうね。じゅん！応援しているからね。

※1　2011年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・アテネ

## 今後の予定

- ◎ 9/25（日）［SON・東京支援］半井清プロチャリティーボウリング（東京ポートボウル）
- ◎ 10/23（日）第14回ウォーク&ランフェスティバル（皇居周縁、ニッポン放送）
- ◎ 10/24（月）［SON・東京支援］第11回チャリティーゴルフ大会（我孫子ゴルフクラブ）
- ◎ 11/12（土）認定コーチ研修会（国立オリンピック記念青少年総合センター）
- ◎ 11/13（日）第11回SO日本関東ブロック水泳競技会（目黒区民センター）
- ◎ 11/25（金）［SON・東京支援］チャリティコンサート「東儀秀樹コンサート」（紀尾井ホール）

**事務局からのお知らせ**

事務局は2016年8月12日（金）から8月17日（水）まで夏季休暇をいただきます。

CAR OF THE YEAR JAPAN 2015 2016

2015-2016
日本カー・オブ・ザ・イヤー
特別賞

日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員会主催

日本の輸入車市場発展に対する長年の貢献が評価され、ヤナセは企業として、2015-2016 日本カー・オブ・ザ・イヤー 実行委員会特別賞を受賞いたしました。

クルマはつくらない。
クルマのある人生をつくっている。 YANASE
株式会社ヤナセ www.yanase.co.jp

SON・東京 オフィシャルスポンサー
ThreeBond　citi　Crafty　HR Solutions
新橋玉木屋　HANZO　Deutsche Bank Group　J.P.Morgan　GYRO INC.　シフトワークス

SSKR NEWS LETTER とらいあんぐる　vol.69
発行所：〒157-0072　東京都世田谷区祖師谷3丁目1番17号
ヴェルドゥーラ祖師谷102号室
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会
編集元：認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京
編集人：岡松武司
編集スタッフ：SON・東京広報委員会／石橋泰介（デザイン）
定　価：100円（代金は会費に含まれています）

Special Olympics Nippon Tokyo
認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京
〒135-0016　東京都江東区東陽2-2-20
東京YMCA東陽町センター内
TEL：03-3615-5569　FAX：03-3615-5581
E-mail：office@son-tokyo.or.jp
web：http://www.son-tokyo.or.jp
www.facebook.com/specialolympicsnippontokyo

**Update↗**

登録アスリート数：1,625名
正会員数：1,024名
（2016年6月30日現在）